

日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー 10周年記念事業




日中小大使 10周年同窓会

& 2018 日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー

実施報告書



AEON 1%
Club Foundation

日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー 10周年記念事業
 **日中小大使 10周年同窓会**
& 2018 日本 中国 ティーンエイジアンバサダー

<Part I >

- 事業名：日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー 10周年記念事業
日中小大使 10周年同窓会（略称 10周年同窓会）
- 実施期間：日本招聘：2018年 7月15日（日）～2018年 7月18日（水）
- 実施目的：本プログラムの10年の歩みを振り返るとともに、世代を超えた同窓生の新たな交流を促進し、未来にむけた日中友好の更なるきっかけづくりを目指す。
- 参加者：①歴代小大使 日本側 247名、中国側 214名 合計 461名

日本側		中国側	
東京都	192名	北京市	104名
北海道	22名	天津市	6名
大阪府	20名	武漢市	28名
大分県	13名	青島市	32名
		蘇州市	16名
		日本滞在中	28名

②2018小大使 日本側 70名、中国側 70名 合計 140名

日本側		中国側	
東京都	20名	北京市	30名
北海道	40名	武漢市	20名
茨城県	10名	青島市	20名

③来賓・関係者 日本側約 150名、中国側約 50名 合計約 200名
合計約 800名

■主なプログラム：

①表敬活動

歴代小大使代表と2018小大使総勢160名が、日本首相官邸にて安倍晋三内閣総理大臣を表敬訪問

②歴史・文化体験活動

歴代小大使を5グループに分けて、歴史文化体験活動を実施

Aグループ：アニメ文化

Bグループ：食文化

Cグループ：服飾文化

Dグループ：伝統楽器（和太鼓・三味線・二胡）

Eグループ：伝統芸能（歌舞伎）

③日中未来友好宣言

- ・これまでの日中小大使としての経験をもとに、日中友好促進のため、未来へ向けていかに共に歩いていくことが日本と中国、そして世界平和につながるかについてディスカッションを行い、『日中未来友好宣言』を決定する。

④記念講演

- ・「温故知新」をテーマに、老舗若手経営者からの未来に向けたメッセージを頂く
- ・中国を舞台にしたアニメーション映画「詩季織々」監督2名によるトークセッション
- ・ディスカッションにて決定した『日中未来友好宣言』を、岸田前外務大臣へ贈呈

⑤記念パーティー

- ・歴代小大使（461名）と2018小大使（140名）、両国政府関係者、学校関係者、イオン関係者等を招き、10年継続の喜びを分かち合うと共に、次なる10年に向けた決起の場とする。

<Part II>

■事業名：2018 日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー（略称2018日中TA）

■実施期間：日本招聘：2018年 7月12日（木）～2018年 7月18日（水）
中国派遣：2018年10月15日（月）～2018年10月22日（月）

■参加者：①日本高校生70名

筑波大学附属高校（東京都）	10名（北京の高校生と交流）
順天高校（東京都）	10名（北京の高校生と交流）
東洋大学附属牛久高校（茨城県）	10名（北京の高校生と交流）
立命館慶祥高校（北海道）	20名（武漢の高校生と交流）
札幌日本大学高校（北海道）	20名（青島の高校生と交流）

②中国高校生70名

北京景山高校	10名（筑波大学附属高校と交流）
北京第二十高校	10名（順天高校と交流）
北京市三里屯第一高校	10名（東洋大学附属牛久高校と交流）
武漢外国語学校	20名（立命館慶祥高校と交流）
青島第一高校	20名（札幌日本大学高校と交流）

■主なプログラム：

①表敬活動

2018小大使と歴代小大使代表総勢160名が、日本首相官邸にて安倍晋三内閣総理大臣を表敬訪問

②歴史・文化体験活動

- 【北京組】 日本科学未来館見学
森のイバライド、水郷佐原山車会館見学
小江戸さわら舟めぐり体験
- 【武漢・青島組】 三笠メロン収穫体験
サッポロさとらんど見学（アイスクリーム作り体験）
スカイツリー見学など

③交流活動

授業体験、ホームステイ

④日中小大使10周年記念講演、記念パーティー

※本事業は日中平和友好条約40周年を記念する周年行事として外務省より認定されています。



「10年の歩みと振り返り、10年後の未来と約束」

日中小大使 10周年同窓会 交流の様子





久しぶりの再会を果たす日中小大使



参加当時の自分と記念の一枚



再会を果たしたペアで記念撮影

- 日 時：2018年7月17日 11:30~11:50
- 場 所：日本首相官邸
- 表敬相手：安倍晋三内閣総理大臣
(西村康稔内閣官房副長官、中華人民共和国駐日本国 程永華大使同席)
- 参加者：歴代小大使の代表と2018年の日中小大使及び関係者総勢200名



中国小大使スピーチ

友達から日本人とうまく付き合っているねと言われるが、それはこの小大使活動が自分を変えてくれたからです。両国民が相手の文化や生活を理解すれば、誤解や摩擦を解消することができます。「青年が立ち上がれば、国家も立ち上がる」のです。両国の青少年はこの一歩を踏み出しています。未来は私たちの手にあるのです。

2013年参加 中国人女子学生



安倍晋三内閣総理大臣からは、「10周年という節目の年に、本年度の参加者に加えて、歴代の参加者の方が一堂に会し、交流の輪を広げていくことは大変有意義なことである」とエールを送っていただく。



日本小大使スピーチ

日中小大使に参加して、先入観なき目で物事を捉えるという姿勢を取り続けなければならないことに気づき、実際に触れることで得た気づきを大切にするという行動方針を固め、現在では東南アジアで現地の大学生と現地問題を分析する活動に取り組んでいます。

2014年参加 日本人女子学生



安倍晋三内閣総理大臣と握手する日中小大使



日本首相官邸表敬訪問記念写真

A.アニメ文化

2018年7月16日
スケジュール

9:00	品川プリンスホテル出発
10:00~12:00	講義 会場：TKP新宿コンファレンスセンター
12:10	講義会場出発
12:40~13:00	聖地巡礼①渋谷スクランブル交差点
13:30~14:10	昼食：東京ワンピースタワー（ブッフェ）
14:10~15:10	東京ワンピースタワー見学
15:15	東京ワンピースタワー出発
15:40~16:10	聖地巡礼②四ツ谷須賀神社前階段
16:50~17:30	中野ブロードウェイ
17:40	中野ブロードウェイ出発
18:40~20:00	夕食：浅草ビューホテル



講師プロフィール：
宮本大人 先生
明治大学 国際日本学部准教授。
専門は、漫画史・表象文化論。編著に『江口寿史 KING OF POP SideB』（青土社、2016年）、共著に『マンガの居場所』（NTT出版、2003年）など。

講義内容：
日本の漫画・アニメーションは国内外の幅広い世代に支持されながら歴史的厚みを築いてきており、今回、世界で大ヒットしたアニメ映画や漫画作品について講義していただく。

「中野ブロードウェイ」

1966年に開業した先駆的な商業住宅複合ビル。

「サブカルの聖地」として知られており、「まんだらけ」はその代表的な店舗。

長い月日をかけて創り上げられた、日本独自の文化を見学。



「中野ブロードウェイ」を見学している小大使たち

B.食文化

2018年7月16日
スケジュール

8:00	品川プリンスホテル出発
8:45~10:15	講義 会場：TKP市ヶ谷コンファレンスセンター
10:30	講義会場出発
11:00~12:45	キャラ弁&パンダデコ巻き寿司体験 会場：Pitiaキッチンスタジオ
12:45~13:20	昼食&写真撮影
13:30	体験会場出発
14:15~15:00	かっぱ橋道具街見学
15:10	かっぱ橋道具街出発
16:00~16:50	スイーツパラダイス
17:00	スイーツパラダイス出発
18:40~20:00	夕食：浅草ビューホテル



講師プロフィール：
胡健芳 特任助教授
(東京大学大学院法学政治学研究科
スーパーグローバル大学創成支援事業
北京大学プロジェクト)

講義内容：
世界的に問題視されている「食品ロス」についての日本・中国両国の取り組みについて触れながら、食をテーマに両国の文化の違いについて講義していただく。



トトロのキャラ弁とパンダの巻きずしを作っている小大使たち

C.服飾文化

2018年7月16日
スケジュール

9:00	品川プリンスホテル出発
10:10~10:50	講義 会場：文化学園大学
11:00~12:10	キャンパスツアー
12:20	会場出発
13:00~14:00	昼食：浅草 香味家（お好み焼き）
14:05	昼食会場出発
14:10~15:10	浴衣着付け体験
15:20~17:20	浴衣で仲見世散策
17:30~18:00	浴衣着替え
18:10	着替え会場出発
18:40~20:00	夕食：浅草ビューホテル

講師プロフィール：

吉村 紅花先生
文化学園大学文化ファッション研究機構、
元文化学園服飾博物館学芸員

講義内容：

「ファッションに見る日中交流の1500年」

長い歴史のある日本と中国の国交。
1500年にも渡る両国の歴史を学び、
ファッションの側面から、2カ国間の
国交について講義いただく。



世界からも注目を浴びている名門「文化学園大学」のキャンパスツアーに参加し、2018年ファッションショー「五感」作品等を見学。2020年東京オリンピックに向けたプロジェクト「KIMONO PROJECT」の中では、中国をテーマとして作られた着物のショーを小大使たちに見せていただく。

着物に詰め込まれた中国の要素とは「五色の瑞雲、万里の長城、牡丹、梅、竹、パンダ」等の縁起が良いもので、配色も艶やかで身に纏った姿は更に雅やかであると、中国でも非常に評判が良かったことを伝えています。



IMAGINE ONE WORLD 「KIMONO PROJECT」とは

2014年にスタートいたしましたKIMONOプロジェクトは、2020年を目指し、各国の文化・歴史・自然をテーマに描いた196カ国オリジナルKIMONO（振袖・帯）を、日本を代表する着物作家の方々と共に全国で制作を進めています。各国をイメージしたKIMONOを着たモデルたちが手を繋ぎ「世界はきっと、ひとつになれる」ことを発信していく所存です。

D.伝統楽器

2018年7月16日
スケジュール

9:00	品川プリンスホテル出発
10:10~11:10	和太鼓体験 会場：すみだ生涯学習センターユートリア
11:30	体験会場出発
12:00~12:50	昼食：花の舞江戸東京博物館前店
13:30~14:30	三味線体験 会場：すみだ生涯学習センターユートリア
15:00~16:00	二胡演奏鑑賞
16:30	体験会場出発
17:00~17:40	太鼓館見学
17:50	太鼓館出発
18:40~20:00	夕食：浅草ビューホテル

和太鼓&三味線体験

団体プロフィール：
時代アカデミー
戦国時代から420年続く江戸隠密武蔵一族の文化教室

二胡演奏鑑賞

KiRiKo (桐子)
東京都出身。
早稲田大学教育学部複合文化学科卒業。
中央音楽学院民楽系二胡専攻研修課程修了。
6歳より二胡を学び始め、12歳より演奏活動を始める。
本場中国で開催された国際コンクールで最高位を受賞するなど、幼少の頃より数々の賞を受賞。



日本の伝統的和楽器の多くは、中国大陸から渡来した楽器を基としています。日本文化の中で形を変え独自に完成された和太鼓や三味線の歴史を学び、実際に体験。
また、日本人で二胡演奏者のKiRiKoさんによる二胡の演奏を鑑賞。

E. 伝統芸能（歌舞伎）

2018年7月16日
スケジュール

9:00	品川プリンスホテル出発
10:00~12:00	歌舞伎ワークショップ 会場：雷5656会館
12:10	体験会場出発
12:30~13:30	昼食：浅草 香味屋（お好み焼き）
13:30~14:30	歌舞伎ワークショップ（隈取り体験） 会場：雷5656会館
14:30~15:30	歌舞伎鑑賞
15:40	体験会場出発
16:15~17:00	歌舞伎座ギャラリー見学
17:10	会場出発
18:40~20:00	夕食：浅草ビューホテル

団体プロフィール：
亀鶴屋

「亀鶴屋」という名称は、伝統芸能を感動出来るエンターテインメント的なものとして提供できればという思いが込められています。日本の伝統文化の発展や成長、世界へのアピールに繋がるよう、日々活動をしています。

学校や商業施設にて歌舞伎のワークショップ、イベント等を開催しています。演者全員がプロフェッショナル、小道具等は専門職が作ったものを使用いたします。

ワークショップ内容：

- ・京劇の立廻りと歌舞伎の立廻りの違いを説明
- ・歌舞伎の立廻りの実演
- ・歌舞伎着物や衣装について説明
- ・隈取り体験



日本の伝統芸能である歌舞伎と中国の京劇の立ち廻りの違いや、歌舞伎の実演を鑑賞し、お面を使った隈取りを体験。

■日 時：2018年7月17日 8:00～11:00
■場 所：品川プリンスホテル

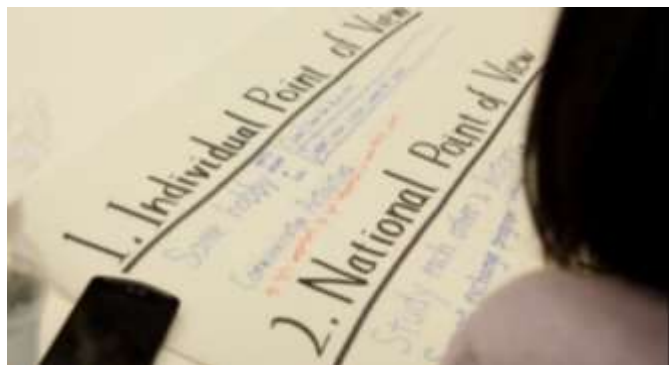
これまでの日中小大使としての経験をもとに、日中友好促進のため、未来へ向けていかに共に歩いていくことが日本と中国、そして世界平和につながるかについてディスカッションを行い、『日中未来友好宣言』を決定。



グループごとにディスカッションを行う



意見を出し合う日中小大使



意見を書き出していく



グループリーダーによる発表



投票により「日中未来友好宣言」を選出

『日中未来友好宣言』



「日中未来友好宣言」

日中平和友好条約締結40周年であるこの記念すべき年に、我々583名の日中小大使は10周年同窓会に参加し、交流活動を通じてお互いの理解と信頼を高め、平和的かつ友好的に持続可能な関係を築いていくことを確固たる信念のもと宣言いたします。

1. 柔軟な態度で積極的なコミュニケーションを持ち、個人の経験を身の回りの人々と共有する
2. 平和と相互の発展のために、民間のコミュニケーションの機会を確保する
3. 平和実現の可能性を世界に示し、より良い世界に導く

記念講演 — 「10周年同窓会」

■日 時：2018年7月17日 13:30~17:00
■場 所：よみうりホール

「温故知新」を記念講演のテーマとして、日本の老舗若手経営者による講演、中国の3都市を舞台としたアニメーションを手掛けた、日本と中国の次世代若手監督によるトークセッションを実施。



(公財) イオンワンパーセントクラブ横尾博理事長の挨拶



中華人民共和国駐日本国大使館 政治部 薛劍(セツ・ケン) 公使参事官よりご来賓挨拶



(株) 両口屋是清 大島千世子専務取締役より和菓子の老舗物語「両口屋是清-創業1634年-」ご講演。両口屋是清の創業の歴史や、和菓子の世界をご紹介頂く。



加賀の井酒造(株) 小林大祐第十八代蔵元より日本の酒づくり～伝統を未来につなげる～ご講演。伝統的酒づくりについてご紹介頂く。



日本と中国の次世代アニメーション監督によるトークセッションとして、「詩季織々」李豪凌(リ・ハオリン)監督×竹内良貴監督がご登壇。作品作りへの想いと、小大使からの質問にお応え頂く。



最後に、午前中に歴代小大使がディスカッションを行い決定した「日中未来友好宣言」を代表の4名が発表。岸田文雄前外務大臣に贈呈し、激励の言葉を頂く。



株式会社両口屋是清 専務取締役

大島 千世子 様

1973年名古屋生まれ。一橋大学大学院卒業。

東京表参道ヒルズの「Rstyle」、新宿 NEWoMan の「結」をプロデュース。
両口屋是清：1634年創業の和菓子の老舗。江戸初期に、尾張徳川家より表看板を賜る。
現在は名古屋だけでなく、東京・大阪・福岡を中心に約80店舗を展開中。



加賀の井酒造株式会社 第十八代目蔵元

小林 大祐 様

1982年新潟県糸魚川市生まれ。東京農業大学にて醸造学を専攻。

卒業後は大手スーパーストアに半年間勤務し、その後加賀の井酒造へ入社。2010年より現職にて酒蔵の発展に向け取組中。2017年まで新潟県酒造組合理事。現在は業界関係者、行政等で組織する糸魚川五醸の会の副会長、大火復興関連の会議メンバーも務める。



日本と中国、次世代の若手監督が描く
オリジナルアニメーション



『君の名は。』など新海監督作品で知られるアニメーション制作スタジオのコミックス・ウェブ・フィルムが手掛けた最新作は、日本・中国の3人の若手クリエイター監督を務めたオムニバスアニメ。中国の暮らしの基本となる【衣食住行】を各テーマに、詩的にして鮮麗な風景描写のもとで描き出された切なくも温かいストーリーは、観る人達の感情を優しく深く揺さぶり、時代や国境を越えて、誰もが共感できるアニメーションが誕生しました。

竹内 良貴 監督「小さなファッションショー」

1985年長野県生まれ。東京工科大学メディア学部卒業。

映画『秒速5センチメートル』(2007)より、すべての新海作品に背景美術・CGスタッフとして参加。『星を追う子ども』(2011)、『言の葉の庭』(2013)や『君の名は。』(2016)では、3DCGチーフとして各種3Dカットを担当し、新海作品の根幹を支え続ける。自身でもアニメーション作品やCMなどに演出、監督として携わり、「小さなファッションショー」でオリジナル作品の初監督デビュー。



李豪凌 (リ・ハオリン) 監督「上海恋」

1985年生まれ、中国・上海出身。

中国のアニメーションブランド“Haoliners”の代表取締役兼アニメーション監督。2013年、オンラインゲーム「League of Legends」をモデルとした「LU's TIME」で監督デビュー。その後、数々の作品を発表し中国国内のみならず日本でも高い評価を得る。優れた作品を作り続ける一方、自社作品を積極的に海外へ展開し、中国文化の海外輸出に貢献している。



「詩季織々」8/4(土)新宿テアトル、シネ・リーブル池袋ほか公開
配給：東京テアトル(C)「詩季織々」フィルムパートナーズ



記念パーティー「10周年同窓会」

- 日 時：2018年7月17日 18:30~21:00
- 場 所：帝国ホテル 孔雀の間

両国小大使同窓生（約600名）、両国政府関係者、学校関係者、イオン関係者等が一堂に会し、10年の歩みを振り返るとともに、世代を超えた同窓生同士が交流を行い、未来に向けた日中関係を考えるさらなる機会となりました。



（公財）イオンワンパーセントクラブ横尾博理事長より挨拶 一般社団法人日中協会 野田毅会長よりご祝辞



中華人民共和国駐日本国 程永華大使よりご祝辞

中華人民共和国駐日本国 程永華大使からイオンワンパーセントクラブ創設者 イオン（株）岡田卓也名誉会長相談役へ、10年にわたる日中高校生交流に対する感謝状の贈呈



2015年参加、日本人女子学生と、2012年参加、中国人男子学生が、「日中未来友好宣言」を発表。



イオン（株）岡田卓也名誉会長相談役、中華人民共和国駐日本国 程永華大使とともに笑顔に包まれて記念撮影する日中小大使

記念パーティー「10周年同窓会」

日中小大使は、国会議員、外務省、中国大使館、中国外事弁等、数多くお越しいただいたご来賓や、同窓生たちと世代を超えた交流を行いました。（氏名五十音順）



逢沢一郎様



青柳陽一郎様



石破茂様



岡田克也様



小淵優子様



海江田万里様



加藤鮎子様



加藤勝信様



金杉憲治様



北側一雄様



高村正大様



近藤昭一様



塩崎恭久様



竹下亘様



中川正春様



中山泰秀様



福島みずほ様



福田達夫様



福山哲郎様



古川元久様



丸川珠代様



茂木敏充様



山口那津男様



汪婉大使夫人

衆議院議員	元外務大臣	逢沢 一郎 様	衆議院議員	元厚生労働大臣	塩崎 恭久 様
衆議院議員	チャイナフェスティバル2018 事務総長	青柳 陽一郎 様	南房総市	副市長	嶋田 守 様
衆議院議員	元地方創生担当大臣	石破 茂 様	衆議院議員	日中友好議員連盟 副会長	竹下 亘 様
衆議院議員	元外務大臣 日中友好議員連盟 副会長	岡田 克也 様	衆議院議員	元文部科学大臣	中川 正春 様
衆議院議員	日中友好議員連盟 事務局長	小淵 優子 様	衆議院議員	外務委員長	中山 泰秀 様
衆議院議員	日中友好議員連盟 副会長	海江田 万里 様	参議院議員	日中友好議員連盟 副会長	福島 みずほ 様
衆議院議員	日中友好議員連盟 幹事	加藤 鮎子 様	衆議院議員	防衛副大臣	福田 達夫 様
衆議院議員	厚生労働大臣	加藤 勝信 様	参議院議員	元内閣官房副長官	福山 哲郎 様
外務省	アジア大洋州局長	金杉 憲治 様	衆議院議員	日中友好議員連盟 副会長	古川 元久 様
衆議院議員	日中友好議員連盟 副会長	北側 一雄 様	参議院議員	前東京オリンピック競技大会・ 東京パラリンピック競技大会担当大臣	丸川 珠代 様
衆議院議員	日中友好議員連盟 幹事	高村 正大 様	衆議院議員	経済再生担当大臣	茂木 敏充 様
衆議院議員	日中友好議員連盟 幹事長	近藤 昭一 様	参議院議員	日中友好議員連盟 顧問	山口 那津男 様



パーティーの後半は、この10年の間に携わってくださった両国大使の祝辞VTRを放映



北京市人民政府 尹培彦（イン・バイゲン）副秘書長ご挨拶



日中小大使によるパフォーマンス

日本側は、10年連続で参加している筑波大学附属高校の歴代小大使による「よさこいソーラン節」を披露

中国側は、2018年の小大使による合唱と武術を披露



伊藤花りんさんが日中小大使10周年を祝うサンドアートパフォーマンスを披露



10年を振り返るヒストリーボードの前で、参加当時の写真を見つける日中小大使



会場内のフォトスポットで記念撮影する小大使



ステージで記念撮影する2015年日中小大使



最後に、We are the worldを歌いながら、10年の活動を振り返りました。

私は、今回の同窓会中に懐かしい旧友との再会だけでなく、他の年度に参加していた小大使の人など多くの新しい出会いを得ることができた。そのかけがえのない再会や出会いの中で、中国語や日本語が流暢になっている友人や、高校生の時に語り合っていた夢をこれからまさに叶えようとしている友人。学生ながらインターネットコマースを利用して自分自身のビジネスを始めている友人など、多様なフィールドで挑戦している自分と同年代の小大使の姿に触れたことは自分にとって大きな刺激になった。

同じ日中小大使事業に参加しても、感じ取ったことや事業後の行動は、各々の感性や個性が影響して人により大きく異なることに面白みを感じた。最も大切なことは、その感じた事を体現することで、そこが自分が今後強く意識していくべきことだと感じた。それぞれが感じ取った事を体現し輝くことで、社会はより沢山の「色」で彩られ豊かになると感じたし、私も自分ならではの「色」を社会に塗りたいと思った。

私が日中小大使として中国に渡航した2012年に大学生ボランティアで参加されていた魏潔さんが、深い信念と熱意をもって日中小大使10周年同窓会事業を責任者として取り仕切られている姿に深く感銘を受けた。私も魏さんのように多くの人にポジティブな影響を与えられる夢（目標）を持ち体現していきたいと強く思い、私の目標に大きな方向性を持つことができた。

だが一方で、私が具体的に社会にどんな影響をどういう形で与えていきたいのかについてはまだフワフワとしていて焦燥感を感じる。けれども、同窓会中友村自生さんとお話しさせていただく中で、そんな私の焦燥感を払拭するような言葉、今後の自分の指針としていきたい言葉を2つ頂いた。1つ目に「多種多様な人と関わる機会に積極的に身を投じ、自分の幅を広げること」。2つ目に「自分の行動を少しでも良い方向に意識的に改めること」だ。この2つの事を常に心に留め、実行していきたい。そして自分の心に素直に新しい事に挑戦し続け、人として大きく成長したい。そして、私自身、この日中小大使事業のように関わった多くの人の人生がよりポジティブな方向へ動き、社会全体もポジティブになるような、原動力となるような事業をいつか生み出し広げていけるような人になりたいと思う。

2012年参加者 日本人女子学生

今回日中小大使10周年同窓会に参加させていただいて、この日中小大使活動からすごく大きなものを得ているなと改めて感じました。

まず1つ目に活動の参加者の質が非常に高く、学力的にも優秀で、考え方が柔軟かつダイバーシティにも溢れていると感じました。ディベートを行なう時も、グループに分かれて日本の文化体験をする時も、常に積極的で行動力のある方が多いと感じました。同じ2013年度参加者の友と数年ぶりにあって、様々な経験をし、それぞれの道を歩み始めている友だちの話は聞いているだけで刺激になりました。自身としても今の自分に満足せず、色んな事にチャレンジしていかなければならないなと考え直すきっかけとなりました。

そして2つ目は青春の1ページにこのイオンさんのプログラムは色濃く刻み込まれているということを感じました。高校生という吸収力バツグンの時期に、中国という地に直接行き異文化交流をさせていただいたおかげで、参加者はみんな国際的な活動をしています。中国の友達とだけではなく、兵庫県の姫路から参加した私にとっては、東京や大阪の学生と交流するというのも、ある種異文化交流でした。私の趣味の一つで「面白い人たちから面白い話を聞き出す」というのがあり、この「面白い」は「interesting」の面白いなのですが、このプログラムに参加した当時もそして今回の同窓会でも、こんなにも簡単にその趣味が楽しめることはありませんでした。誰と会って話しても、自分の知らない世界の話を持っていて、高校生の頃話した内容の数十倍も内容が濃くなっており、これほど参加させていただいて良かったと思えるプログラムは今までありません。

これから仕事を始め、人生を生きていく中で、何百人、何千人と今回の日本人の参加者やポテンシャルのある中国人の方と出会っていくことでしょう。イオンさんの素晴らしいプログラムで得たこの経験を活かし、学生のうちに中国の方ともっと関われる機会を増やし、明るい未来をリードしていく人になりたいと思います。

2013年参加者 日本人男子学生

多くの先輩や後輩、まさか卒業後に同じ高校の友人と出会う機会があるとは思いませんでした。それだけでなく、2013年一緒に日本に来た理工附属高校の友人とも再会し、長い間連絡していなかったにも関わらず、そこには相変わらずの親しさがありました。印象深いのは初日のパーティーで、魏さんが中国語、日本語の両方で「お帰りなさい！」と言ってくれたこと、本当に感動しました。二人で参加者1000人を超えるこの大規模なプログラムを動かすのは本当に容易なことではありません。

同窓会が終わり、帰国したその次の日まで、私はまるで長い夢を見ているかのような気分でした。今回のプログラムで自分の言語能力に対する自信を取り戻し、7月末の面接試験ではいつも通りの力を発揮でき、広島大学の留学生に合格することができました。もしただ同窓会に参加しただけならば、将来の道が変わることはないでしょう。しかし、この同窓会は、私にとってまさに肝心な時期に、成功裏に行われ、ドミノの最初の一枚を倒すように、その後全てが好転し始めました。今の私はとても充実しています。素晴らしい時期に、この素晴らしいプログラムを開催してくれた魏さんに心から感謝します。これをきっかけに成功への第一歩、さらには第二歩、第三歩を踏み出すことができました。

かけがえのない日々を過ごしていて、今私は「ぜひ北京で再会しよう」と願ってやまない。今度こそ絶対にすれ違わないよう、絶対に離すことはしない。この出会いを、一番の宝物にして、これからも大事にしています。「みんなと巡り会えてよかった」と、今心の底から感謝しております。

2013年参加者 中国人男子学生

人生で最も貴重な経験だったと思っています。異国の親友、向上心に胸を燃やす青年達、責任感ある辛抱強いスタッフの皆さん...招待を受けた時、これから訪れる再会の喜びだけでなく、自分のことをまだ覚えてくれているという安心感に満たされました。映像の中、そして写真の中に、歴代小大使の姿があり、誰かに覚えてもらっている感覚、自分が誰かの記憶の中にいるということを感じさせてくれたことに、感謝したいと思います。今回のプログラムでは、更に多くの優秀な人達、これまで会ったことのない、若しくは以前のプログラムでは言葉を交わしたことのなかった人達と交流できたことで、より深く皆さんを知ることができました。たった四日間ではありましたが、まるで一緒に四季を過ごし、世界を巡ったかのようにさえ思えました。同様の信念と情熱の下、私たちはこうして集まり、出会いました。私の胸の内は表したくても表しようもない思いで一杯です。四年前の夏がまるで先月のことのように思えます。日本語、中国語、英語が入り混じる中、名札カードを胸に下げ、当時少し苦手だった氷の入った冷たいお茶を飲んでいました。懐かしい温もり、記憶の中にしっかりと刻まれた数々の場面、その全てが波のように押し寄せ、胸はいっぱいになり、思い出す度に目頭が熱くなります。

プログラムも終わりに近づき、私の毎日はまた現実に引き戻されてしまいます。それでも私の心の中にはこのプログラムに参加したその情熱がめぐり続けます。日中友好平和条約締結について考えることによって、日中関係について、また他とは違う理解が生まれたように思います。未来はより美しく平和であると以前にも増して信じるようになりました。時代の先頭に立つ者として、理性を以って日中関係に向き合い、誤解を解くよう力を尽くすべきだと思います。自らの不足を認め、他国の良いところを学び、理性的且つ冷静であるべきです。これからの生活の中で人と話し合う際には、自分の得たこの経験を分かち合い、自分の考えを伝えていきたいと思っています。魯迅が言ったように、“仕事をやれる者はやり、声を発することができる者は声を出す。一分の熱があれば、一分の光を発する。たとえ蛍の光のようであっても”。今の若者たちに最も大切なのは「行動」することであり、「声」にとどまることではありません。私たちの取るに足らないような行動が両国関係の発展に結びつくものと、私は固く信じています。

今回のプログラムは大成功だったと思います。特にグループディスカッションでは年代も出身地も異なる小大使と討論をすることができ、より多くの友人を得ることができました。スケジュールはきつめでしたが、疲れ過ぎることはなく、豊富な素晴らしい内容でした！次の記念イベントは是非北京で、時間も更に長くって開催してほしいと願っています。改めてイオン1%クラブ及び人知れず力を尽くして下さったスタッフの皆様へ感謝致します！

集まればそこには一つの大きな火、離れ離れになってもそこには満天の星が広がる。この世界は益々良いものに。私はそう信じています。

2015年参加者 中国人女子学生

参加高校一覽 参加高校一覽

2009～2018年 中国側計613名 日本側計591名 合計1,204名
2009～2018年 中国側計613名 日本側計591名 合計1,204名



筑波大学附属
高等学校



東京学芸大学附属
高等学校



お茶の水女子大学附属
高等学校



東京都立西
高等学校



大阪教育大附属
高等学校池田校舎



兵庫県立姫路西
高等学校



千葉市立千葉
高等学校



岩田高等学校



礼親日本大学高等学校



順天高等学校



東洋大学牛久
高等学校



立命館慶祥
高等学校



北京市月壇中学



北京理工大学
附属中学



北京市師範大学
第二附属中学



北京日壇中学



首都師範大学
附属中学



北京市私立匯佳中学



北京市第十二中学



北京市陳經綸中学



北京匯文中学



天津市第二十中学



青島市第九中学



北京市三里屯一
中



武漢市第六高校



蘇州市第三中学



武漢外國語学校



北京市第九中学



北京市順義牛欄山
第一中學



山東省青島第二中学



北京景山学校



山東省青島
第五十八中学



北京第二十中学



山東省青島第一中學



2018 日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー

交流の様子





路面電車の中でペアを迎える日本小大使たち。



「ようこそ日本へ！」ウェルカムボードを持って、ペアとの対面を楽しみにしている日本小大使たち



思わずハグをしている日中小大使



「ようこそ日本へ！」ウェルカムボードを作った日本小大使とそのペア



対面後の記念写真



北海道の牛乳を使ったアイスクリーム作り体験



ホームステイのご家族に手作りプレゼントーキャンドル作り体験



イオン三笠農場でメロン収穫体験をしている小大使



カレー作りに初挑戦している中国小大使たち



茶道体験 in 筑波大学附属高校



学食体験 in 立命館慶祥高校



相撲部見学 in 東洋大学附属牛久高校



剣道体験 in 札幌日本大学高校



英語授業体験 in 順天高校



携帯を使ってホストファミリーと会話している小大使



ホストファミリーと一緒に家族写真を撮る中国小大使



感謝の夕べ in 北海道



感謝の夕べ in 東京

10月中国で会いましょう！